

# 緑化だより

No.73 平成24年6月号



ユリノキ 平成24年5月24日 苗畑にて

- 広島県の美味しいなば(3)
- 野鳥の世界(ヤマドリ)
- もみじの話(3)
- 研修会のご案内
- お知らせ・ご案内

**生き物いっぱい 自然いっぱい**

**広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園**

**〒732-0036 広島市東区福田町 166-2**

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail [hiroshima@ryokka-c.jp](mailto:hiroshima@ryokka-c.jp)

## 広島県の美味しいなば

### (3)ハタケシメジ(畑占地)

4月から、広島県内の野山に発生し(栽培きのこではなく)採集され食べられている美味しい野生きのこを取り上げています。

今月はハタケシメジです。

ハタケシメジは野山に行かなくても、庭園や草地などの埋もれ木のある場所に群生します。昨年は10月頃あちらこちらで大発生したようです。緑化センターでも群生しました。

傘は灰褐色～暗褐色で表面に綿毛状のかすり模様があるのが特徴です。柄は白色ではなく褐灰色である点もホンシメジと異なる所です。

味もホンシメジに匹敵するほど美味で、すまし汁で食べても味があります。又、味がよいだけでなく体にもいいと言われています。それは血圧やコレステロールを下げる効果があるとか、ガンの予防によいのではないかということが言われています。β-グルカンが多く含まれており、その抗腫瘍効果については日本癌学会等で発表されています。(川上)



ハタケシメジ

## 野鳥の世界

### ヤマドリ

梅雨から夏至に向け若葉が濃くなって来る頃、南方から渡ってくる鳥たちも揃い、山がにわかには賑やかになります。緑化センターでも、オオルリ、キビタキ、サンコウチョウなどが子育てをします。

これらの野鳥は昆虫が主食で羽(は)虫と呼ばれる、カゲロウ、ガガンボ、ユスリカ、蛾とその幼虫などです。ヒナ鳥にとっては消化が良く、カロリーがあるほうが良いのです。

そんな親鳥の配慮をまったく必要としない丈夫な野鳥がヤマドリです。

ヤマドリは、谷筋に沿って、夜明けに里近くまで下り、日中にかけて登りながら採食します。緑化センター内でもヒナを連れた雌親を数度見かけています。子育てをする雌がいるということは、雄鳥もいることが充分考えられます。雄は採食の途中でも、小高い岩や倒木の上で、主翼を胸に打ちつけ、低く大きな音をさせ自己主張する習性があります。その姿は見えなくても「ホロ打ち」と呼ばれるその音でヤマドリの存在が確認できるのです。近年、その音を聞くことも、姿を見る事も少なくなっていますが、ヤマドリにとっても環境の変化が影響しているようです。(吉見)



ヤマドリ

## もみじの話(3)

### カエデの種類

カエデは秋のものイメージされていますが、春のカエデも捨てがたいことは先月号でも述べました。この時期の新葉は、柔らかい輝きを見せます。

日本のカエデは原生種で約 18 節に分類され、園芸品種は1,000種以上が紹介されています。

原生種で代表格のイロハモミジはオオモミジ、ヤマモミジ、ハウチワカエデ、コハウチワカエデ等とともにイロハカエデ節に分類されます。その他、ミツデカエデ節、ヒトツバカエデ節、チドリノキ節、トウカエデ節、ハナノキ節、メグスリノキ節、カラコギカエデ節などに分けられます。

イロハカエデ節の葉は、切れ込みが深いものが多く、深い切れ込みは重鋸歯をもつ7裂が普通で、中には5裂や9裂があります。

他の節に属すものは葉に切れ込みが少ないもの、三葉、一葉とあり、一見カエデと見分けられないものもあります。

チドリノキなどは見た目にはイヌシデの葉と全く変わらないのですが、イヌシデが互生であるのに、チドリノキは対生である事や、種子に翼をつけることで見分けます。

緑化センターには約20種の自生種や園芸種があり、秋には紅・黄葉で園を彩ります。

これからの時期、カミキリムシの幼虫や毛虫も発生します。幹や枝を観察し、木屑や毛虫を見つけ次第、捕殺するか殺虫剤を散布して下さい。

又、葉の表面を白い粉をまぶしたようなウドンコ病も発生しやすいので、見つけたら早めに殺菌剤を散布し拡大を防いで下さい。

剪定は枯枝除去など軽剪定にし、お礼肥として化成肥料を与えると良いでしょう。(正本)



メグスリノキ



カラコギカエデ



イヌシデ

## 研修会のご案内

- |   |  |
|---|--|
| ○ 6月 2日(土) 『6月の自然探勝』<br>初夏の樹木や花を観察しよう           | 10:00～12:00 管理事務所前集合<br>講師:森林インストラクター 駄賀 恒男            |
| ○ 6月 5日(火) 『庭木の手入れ』<br>マツのみどり摘みなどを学びます          | 10:00～12:00 学習室集合<br>講師:樹木医 工藤 徹                       |
| ○ 6月 10日(日) 『観葉植物の手入れ』<br>観葉植物の種類と手入れを学ぼう       | 10:00～12:00 学習室集合<br>講師:緑化センター職員 山根 道広                 |
| ○ 6月 17日(日) 『天気予報と気象の話』<br>勝丸恭子のお天気出前講座         | 10:00～12:00 学習室集合<br>講師:気象予報士 勝丸 恭子                    |
| ○ 6月 24日(日) 『アロマでリフレッシュ』<br>憂鬱な梅雨をアロマでリフレッシュしよう | 10:00～12:00 学習室集合<br>講師:オリエンタル・アロマセラピー協会<br>認定講師 新酒 治代 |
- ※ 要予約・先着20名・材料代1000円

## ♪☆お知らせ・ご案内☆♪

### ◎ 展示会のお知らせ (展示場所:レストハウス)

(ボード展示)

**ボタニカル・アート展** 4月26日(木)～6月7日(木)

植物を精密に描いた絵を展示しています。

**愛鳥週間原画コンクール入賞作品展**

6月12日(火)～7月4日(水)

愛鳥週間原画コンクールの入賞作品の展示です。

(ガラスケース展示)

**七宝焼同好会作品展**

5月9日(水)～6月20日(水)

七宝焼同好会の作品を展示しています。

**手作り工房 いっちゃん“木の実・枝作品展”**

6月23日(土)～8月18日(土)

木の実や枝を使ってのユニークな手作り作品を展示します。

### ◎ 園内を利用される皆様へ

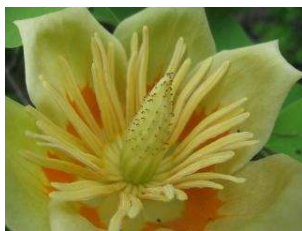
ペットを連れてのご利用はできませんが、リードでつなぎ、糞はお持ち帰りください。



昨年の愛鳥週間原画コンクール作品展



木の実・枝作品展



表紙; ユリノキ モクレン科ユリノキ属

北アメリカ東部原産。インディアナ州の州花。和名の由来は、属名(Liliodendron)に基づく。別称、チューリップ・ツリー、半纏に似ていることからハンテンボクともいう。材は、家具や丸木舟に利用される。